

こわ〜い熱中症には要注意！

人間は身体中に汗腺があり、汗をかくことで体温調節を行っていますが、わんちゃんの体には、ごく一部にしか汗腺がありません。そのため、犬は総じて人間より暑さに弱い動物です。熱中症は、少しでも処置が遅れてしまうと、わんちゃんの命を奪ってしまうこともある、怖い症状です。だから熱中症は予防が第一！少しでも日差しが強く感じる季節が来たら、十分に気を配ってあげましょう。

熱中症を引き起こす主な原因

- ①気温の上昇
- ②直射日光
- ③湿度の高さ

つまり、高温多湿の日本の夏は、わんちゃん達にとっては最悪の条件です。また、①と②は比較的気づきやすいのですが、③は以外と忘れがち・・・。

たとえ曇っていて日差しが強くなくても、体感温度が高くなくても、「湿度が高くてジメジメねっとり」の梅雨時特有の環境は熱中症の原因になりやすいものです。

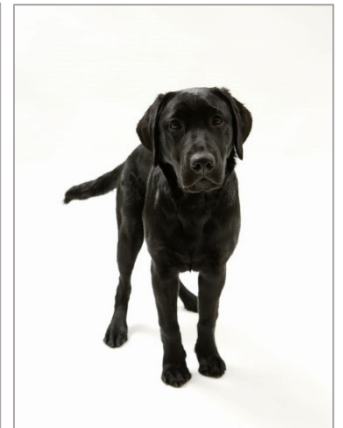
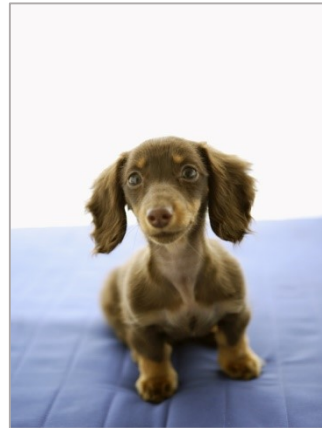
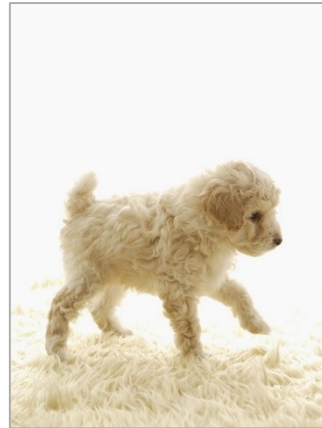
予防方法

■お散歩

- * 日差しの強い時間帯は避ける。
- * わんちゃんは裸足です。地面の温度に注意。
特にアスファルトの照り返しは、地面に近い所を歩いているわんちゃんにはとっても辛いものです(>_<)
- * こまめな水分補給と木陰での休憩を。

■お留守番

- * わんちゃんの居場所に直射日光を当てない工夫を。
- * 風通しを良くする。
- * いつでも水分補給できるようにしておく。
- * クーラーをかける場合は、部屋の大きさに応じて高めめの温度に。冷やし過ぎには要注意。かえて、少々の暑さでも参ってしまうようになってしまいます。
(>_<)



特に暑さに弱い犬は、老犬/子犬/鼻筋の短い犬
足の短い犬/黒い毛色の犬など

※万が一暑さでぐったりしてしまったり、熱中症になってしまったら、濡れたタオルなどで体を冷やし、とにかくすぐに獣医さんに連れて行って下さい。

「愛犬家住宅住まいづくり」のご相談先

